



平成 29 年 5 月 17 日
内閣府（防災担当）

「ジェンダーと防災に関する有識者懇談会」 （第 1 回）の開催について

「ジェンダーと防災に関する有識者懇談会」第 1 回を以下のとおり開催いたします。

本懇談会では、防災におけるジェンダー平等を目指すことにより、地域の防災力を高めるため現状データの分析やファクツの調査を行い、考え方や必要な取組の方向性等について検討することを目的として開催するものです。

1. 日 時： 平成 29 年 5 月 18 日（木）10:00～12:00
2. 場 所： 中央合同庁舎第 8 号館 4 階 407-2 会議室
3. 委 員 等： 別紙のとおり
4. 取 材： 会議は非公開。ただし、会議冒頭時のみカメラ撮り可。
後日議事概要を公表予定。

※取材を希望される方は、開始時間までに直接中央合同庁舎第 8 号館 4 階 407-2 会議室にお越しください。

本件問合せ先
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（普及啓発・連携担当）付
参事官 佐谷 説子
主 査 田村 豊一
TEL 03-3502-6984 FAX03-3581-7510

ジェンダーと防災に関する有識者懇談会の概要

別紙

- ▶ ジェンダー平等は、「仙台防災枠組2015-2030」(2015年3月)や「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(2015年9月採択)等で、防災・復興の取組において重要な要素として位置付けられている。
- ▶ 予防、発災時、復旧、復興の各段階において、ジェンダーの違い(性差)により生じている課題が多く指摘されており、特に日本は、平時から社会参加・経済参加等の面での性差が世界各国と比べて大きいことから、それが災害時に地域の脆弱性として表出するおそれがある。
- ▶ これらを改善するため、現状データやファクツの調査、整理・分析を行い、考え方や必要な取組の方向性等について検討を行うことにより、「自助」「共助」による地域の防災力が向上することが期待される。

○座長

加藤 孝明 東京大学生産技術研究所
都市基盤安全工学国際研究センター 准教授

○委員(五十音順 敬称略)

<オブザーバー>

浅野 幸子 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員

池田 恵子 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
静岡大学教育学部 総合防災センター 教授

岩崎 一雄 一般社団法人 日本経済団体連合会 政治・社会本部長

大野 曜 男女共同参画と災害・復興ネットワーク 事務局長

小野 裕一 東北大学災害科学国際研究所 教授
災害統計グローバルセンター 所長

鍵屋 一 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授

サンドラ・ウー 国際航業株式会社 代表取締役会長、
国連国際防災戦略事務局(UNISDR)ARISE理事

武田 賢治 日本生活協同組合連合会 法務・危機管理部 部長

田中 宏和 四日市市役所 危機管理監 危機管理室 主幹

長田 三紀 全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長

明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長

山口 勝 NHK放送文化研究所メディア研究部 主任研究員

内閣府男女共同参画局
復興庁
(独)国際協力機構
東京都
静岡県
防災・減災日本CSOネットワーク